

みどりの風

令和4年3月7日（月） 発行人：校長 角田 亮明

緑
の
誓
い

- さわやかにあいさつをします
- 進んで勉強をします
- きまりを守ります
- 心をこめて掃除をします
- みんなと仲良くします

「6年生ありがとう集会」が開かれました。

4日（金）の2・3校時、毎年恒例の「6年生ありがとう集会」が開かれました。まん延防止等重点措置期間のため、残念ながらリモート形式での実施です。全校児童がそれぞれの教室で画像を見ながら参加します。まずは6年生入場。事前に編集された6年生全員の個人画像を流しながら、下級生は教室で拍手を送ります。続いて、はじめの言葉。担当は6年生に一番お世話になった1年生。各クラス代表の4人がライブで挑戦しました。

続いて、各学年の出し物です。リモート集会になったので、学年ごとに事前に動画録画し、それを紹介する形です。コロナ禍で十分に練習もできなかったはずなのに、どの学年の出し物も感謝と優しさに溢れ、6年生の心にしっかり届きました。

4年生、2年生、1年生、3年生、5年生の順に進んだ出し物プレゼントの後は、スマイル班（縦割り活動班）で6年生に感謝のメッセージカード贈呈。お返しの6年生の出し物は、卒業式で歌う「旅立ちの日に」を披露。胸にジーンと響きます。

送別集会は、リーダーが交代することを意味します。6年生の運営委員から5年生の運営委員に校旗が引き継がれました。もちろん、リーダーとしての責任感と覚悟も一緒に。久しぶりに全校児童で校歌（マスク着用のまま）を歌い、最後に2年生代表の終わりの言葉で会を閉めました。素敵なプログラムを作ってくれた3年生、集会題字や装飾物を準備してくれた4年生、会全体を統括し、進行や事前準備を滞りなく進めてくれた5年生。卒業式に参加できない下級生の温かな想いが6年生一人一人の心を満たした集会でした。



まん延防止等重点措置が解除されました。

長崎県のまん延防止等重点措置が再延長されることなく解除されました。いろいろな場面で制限を課せられてきた日常生活にも若干ゆとりが生まれることが予想されます。ただ五島市では、もう1週間以上、毎日新規感染者が出ていることを考えると、まだまだ予断が許せない状況だと考えます。例えば、学校関係者に陽性者が出ると、学校は休校や閉鎖措置を講じて感染拡大を防がねばなりません。500人近い人数で共同生活をしているので仕方ないことです。ですから、児童、教職員、保護者の皆様それぞれがしっかりと感染対策を継続して、卒業式及び修了式に向かわなければなりません。まん延防止等重点措置の解除により、島外との交流が増えることが予想されます。人混みを避け、不織布マスクを着用して感染予防を徹底していきましょう。

学校では警戒レベルを若干下げ、少しだけ学習活動の制限を緩和しますが、マスク着用・換気の推奨・手洗いと手指消毒の徹底はもちろん継続します。修了式まで残り2週間です。

